



11. 平成23年度の実績

平成23年度業績概要

●資金利益の減少や法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しにより減収・減益

損益状況

	(百万円)		
	22年度	23年度	前年比
経常収益	18,199	17,292	△907
業務粗利益	13,870	13,133	△737
資金利益	11,471	11,219	△252 ①
役務利益	951	1,043	92
その他業務利益	1,448	870	△578 ②
経費	10,648	10,751	103
業務純益 (コア業務純益)	3,044 (1,279)	2,381 (1,483)	△663 (204)
経常利益	2,256	1,677	△579
税引前当期純利益	2,264	1,652	△612
法人税等調整額	799	1,080	281 ③
当期純利益	1,350	422	△928

【主な増減要因】 (百万円)

① 資金利益	△252
資金運用収益の減少 (うち貸出金利息の減少)	△410 (△442)
資金調達費用の減少 (うち預金利息の減少)	158 (234)
② その他業務利益	△578
債券関係損益の減少 (うちCDO償還益の減少)	△1,044 (△969)
金融派生商品費用の減少	530
③ 法人税等調整額 (うち法人税率要因)	281 (536)

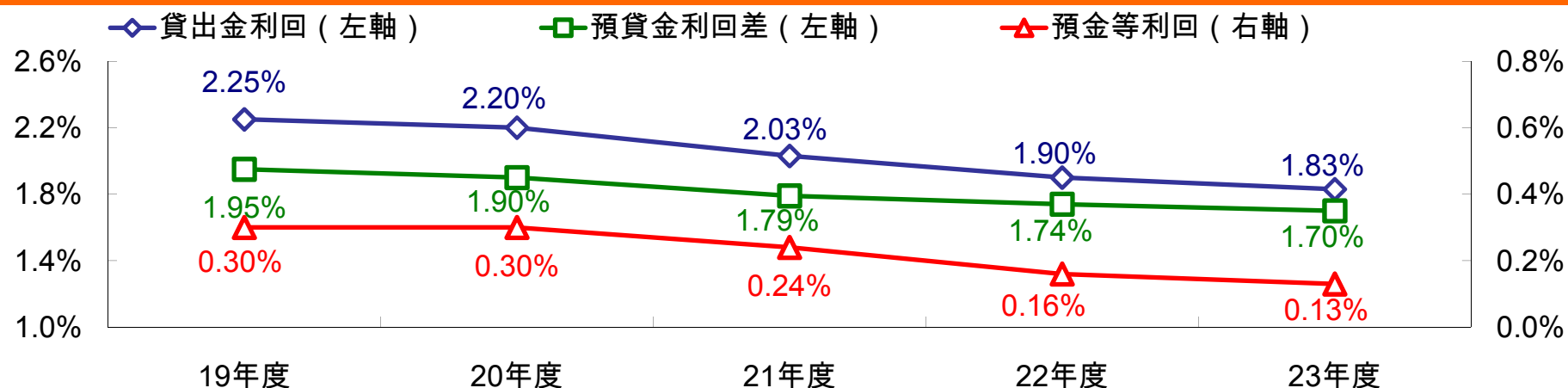
【業績予想との比較】 (百万円)

	業績予想	実績	業績予想比
経常収益	16,500	17,292	792
経常利益	1,300	1,677	377
当期純利益	700	422	△278

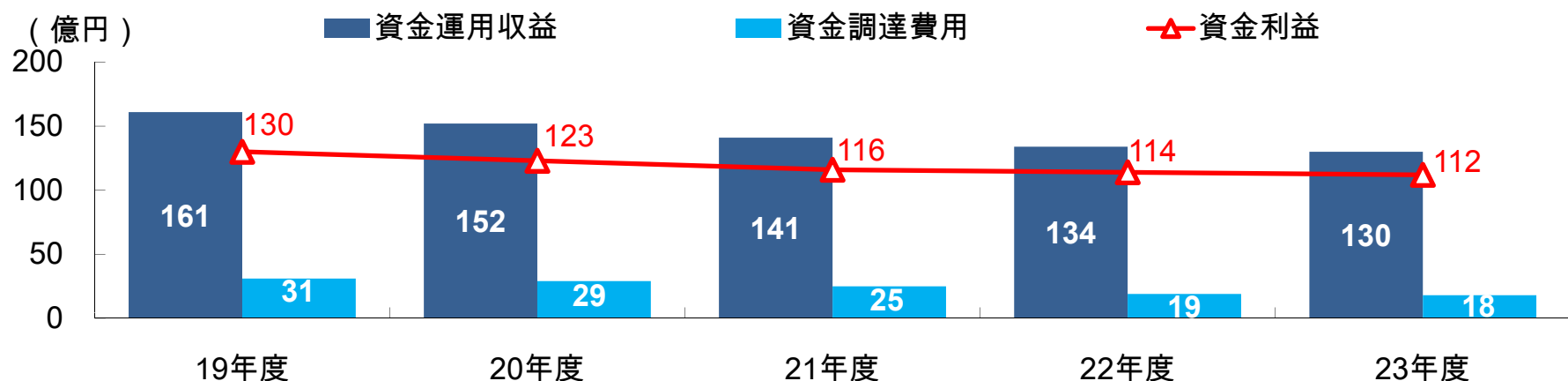
資金利益

●市場金利の低下により預貸金利回り差が縮小するも、資金利益の減少に底打ち感

預貸金利回り・利回り差



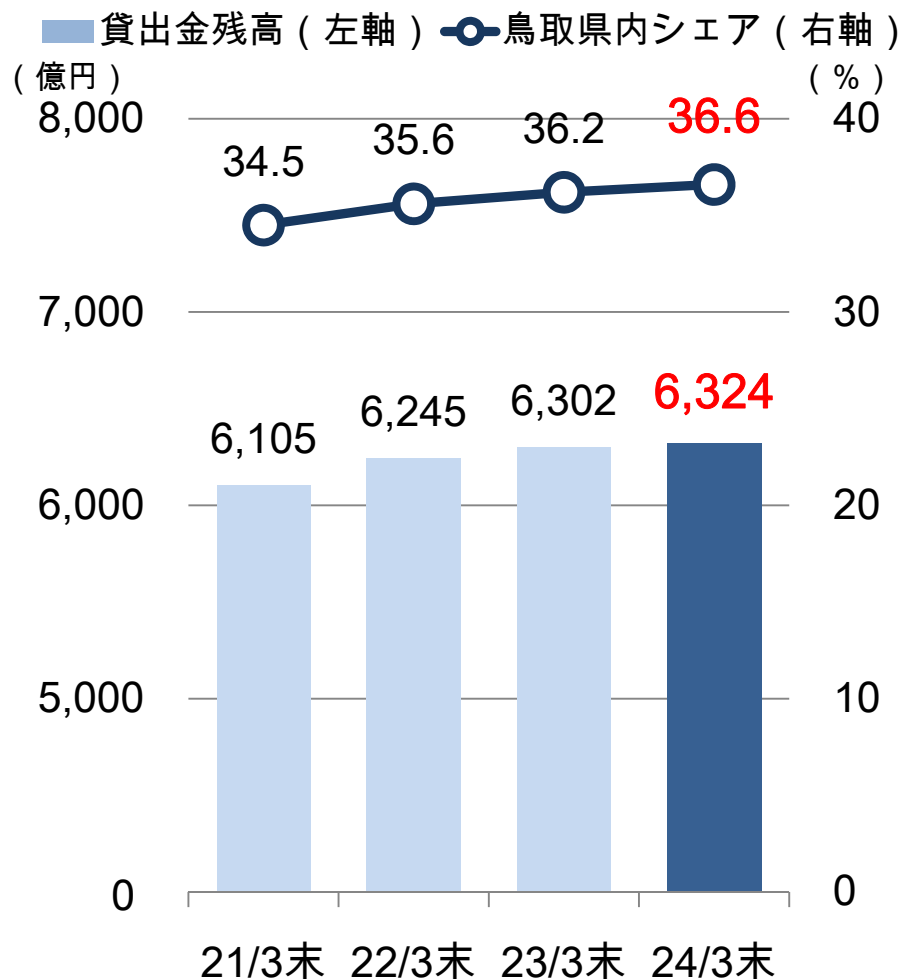
資金利益推移



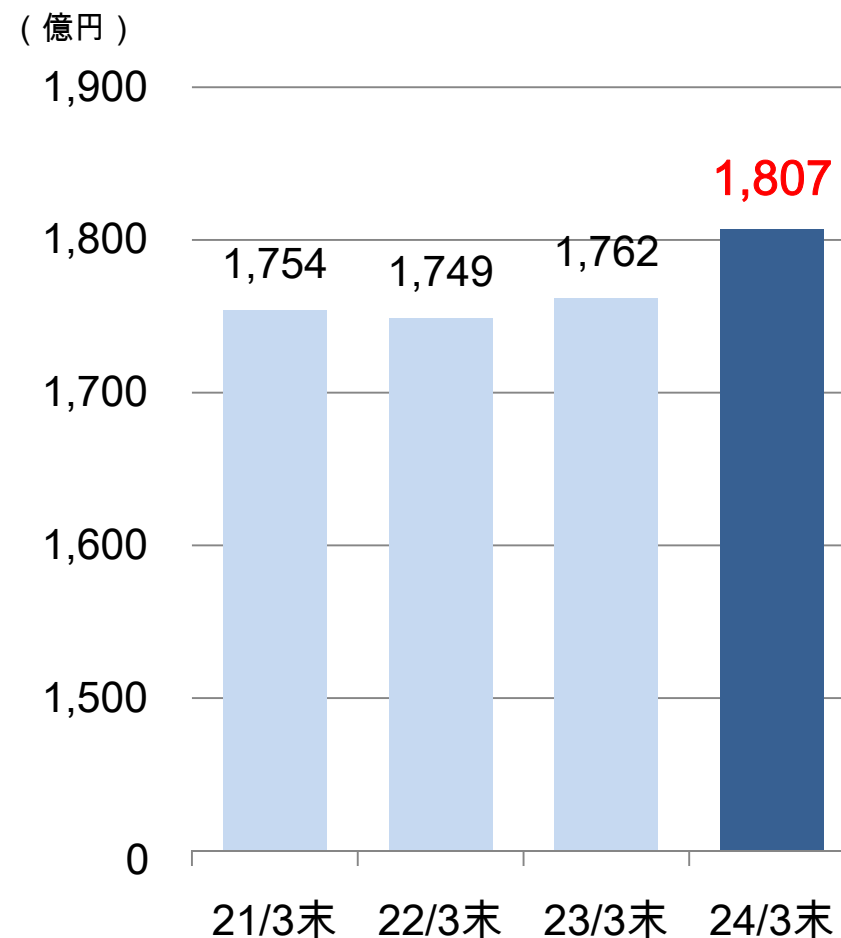
貸出金

● 中小企業向け残高の増加等により貸出金残高は前年比+22億円増加

貸出金残高及び鳥取県内シェア



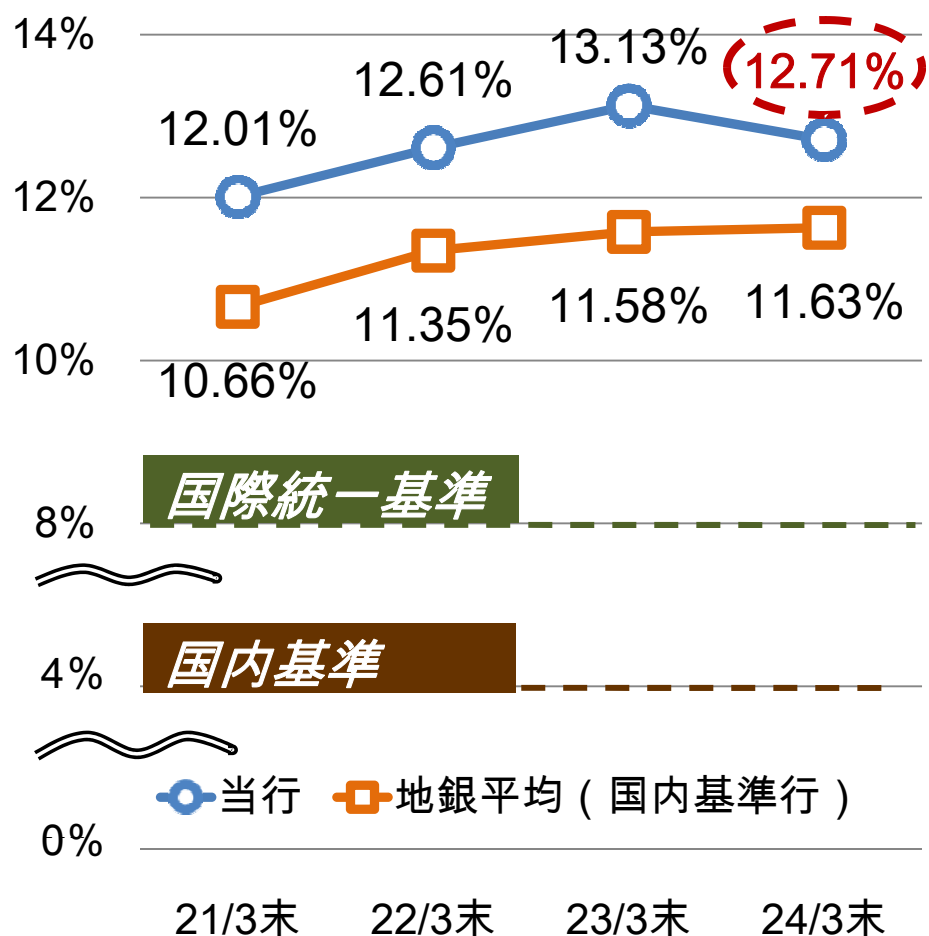
中小企業向け貸出金残高



健全性

●自己資本比率は健全な水準を維持、不良債権比率は2%台前半に

自己資本比率



不良債権比率(金融再生法ベース)

